

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立八熊小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒454-0013
愛知県名古屋市中川区八熊1-8-30

Website : http://www.yaguma-e.nagoya-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 156 名 女子 158 名 合計 314 名
児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

理科・生活科学習を通して、子どもたちが科学的なものの見方や考え方を身に付けるだけでなく、「科学が将来の自分にとってなくてはならない」ものとして、「科学の有用性」を実感することをねらった。

そこで、各単元の問題解決の過程に、身近な自然や生活・自然環境や豊かな社会と科学とのつながりを意識することができる体験を『体験Ⅰ（事象との出会い）』『体験Ⅱ（観察・実験）』『体験ⅢA（身近につながる活用）』『体験ⅢB（未来へつながる活用）』として位置付けた。

さらに、本校では、地域素材として、学校のすぐそばを流れる都市型河川「堀川」を教材化して「堀川」を全学年共通素材として環境学習に取り組む。また、身近な生活との結びつきが強い「車」を全学年の共通素材として取り上げ、エネルギー領域の学習にも取り組むこととした。

1学期より、学校のすぐそばを流れる「堀川」を教材化した環境学習に、全学年で取り組んだ。子どもたちは、堀川に関わりながら、季節と生き物、汽水の堀川、堀川と生き物、校庭と堀川の生き物などについて体験を通して学び、身近な堀川にも学んだことがつながっていることを捉えることができた。

2学期からは、「堀川」を教材化した環境学習に加え、身近な生活との結びつきが強い「車」を、各学年共通の素材として取り上げ、エネルギー学習に取り組んだ。手で試すことができる小さな車「ミニカー」を使って生活科では風やゴムの力で走らせた。3年生からは、「ミニカー」を動かした仕組みで自分も乗れる車「ビッグカー」を動かすことができるかを試した。風やゴム、電気、太陽光、発電・蓄電などで「ビッグカー」の動きを実感する体験を通して、理科で学んだエネルギーが、人を動かす車にもつながっていることを捉えることができたことができた。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）
- CD-ROM
- 写真
- その他（ e-mail ）